



coppice STYLE Paper

vol.04

コピスで働く人たち
〈コクホーのランドセル〉
ウキウキお散歩時間
吉祥寺な人(Lady Honkerz) >
吉祥寺Lunch リレー〈焼肉洞〉
ふわっとコピリズム
NEW SHOP OPEN
EVENT

coppice people

コピスで働く人たち

コクホーのランドセル
庄司 三奈子さん

「ランドセル選びって、お子様とご家族にとって一生に一度のものですよね。そんな瞬間に立ち会える仕事ってなかなかないと思ってます」。そう話す庄司さんがコクホーのランドセル吉祥寺店で働き始めたのは去年の9月。子育てがひと段落し、仕事を探していた矢先だった。「仕事の相談をしていた友人の『ランドセルって、夢を売る仕事だね』という言葉にときめいて。子どもが三人いてランドセルは身近だったので、不安もあまりなかったです。ただ、実際に仕事が始まると、自社製品だけでなく幅広い知識が必要でした」。ブランドやデザイン、色だけでなく、素材や金具の違い、刺繍糸の種類など…ディテールに関するお客様からの質問も少なくない。「初めて接客させていただいたお客様が、鞆づくりに携わっていて。たくさんのご質問に一生懸命お答えしていたら、『カタログの写真だけじゃ買えなかったです。相談しながら実物を見て本当によかった。下の子の時もぜひコクホーさんで』と言って下さって。お子様も、選んだものをすごく嬉しそうに背負って」。

家族にとっての一大イベントであるラン

ドセル選び。好きな色やデザインを純粋に選ぶ子どもの気持ちと、ベーシックさを求める保護者の気持ちのどちらも理解できるがゆえに、葛藤もあるそうだ。「それぞれの意見があるので、なるべくみなさまの気持ちに寄り添いながら、ご家族の気持ちが一致するように心がけています。どちらかに偏ると、不満が残ってしまう場合もありますから」。人生の節目の買い物だからこそ、みんなの気持ちを尊重したいという庄司さん。一つ一つのやりとりを丁寧に重ねながら、家族たちを新学期へ送り出している。

「吉祥寺は子どもから大人まで幅広い年齢層が楽しめる街。特にこのフロアはキッズスペースもあるから、いつも親子連れが多くて賑やかですよ。店舗に並ぶ色とりどりの商品をみながら、「もうすぐだね」「どれがいいかな」と話す親子が通りがかる。「お子様が本当に気に入ったランドセルを背負ったときの表情って、すごくキラキラしてるんです。どの子もそんな顔になって、6年間大切に使うことが理想ですよ。ご家族みんなが気持ちよく新生活を迎えられるよう、よき相談役としてお店に立ち続けたいです」。

子どもと家族の新学期を、笑顔で見送るお仕事



きっと
お気に入り
が見つかる!



RECOMMEND ITEMS



職人技品質とエレガントなデザインが融合したプレミアムランドセル。かぶせを開くとそこにもかわいい秘密が…?女の子の「好き」がいっぱい詰まっています。(全8色) プリンセスプリンセス リトルアミュ(エメラルド) ¥84,700



「本当に必要な機能だけ」にこだわったシンプル&ベーシックスタイル。どこか懐かしさも感じる、色とりどりのランドセルです。(全11色) ユメイロ(さくらのいろ) ¥57,200



ヨーロッパの名門校を感じさせる上質感のあるランドセル。落ち着いたカラーとクラシカルな雰囲気、毎日をちょっとだけ大人っぽく演出してくれます。(全7色) ETON(ブラック) ¥68,200



デザイナーが熱望し実現したという、アンダーアーマーとのコラボランドセル。スポーツ好きの保護者たちに人気のだとか。商品の一つ一つに製作者の想いが込められている。



コクホーのランドセル
[B館5F]